

第33回 豊済会 職員研修会

2024年10月20日（日）池袋ホテルメトロポリタンにて「正智先生からCKD-MBD（慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常）を学ぶ」をテーマに第33回豊済会職員研修会が開催され、下落合クリニック、ときわクリニック、境南クリニックの職員91名が参加しました。

1. 開会挨拶 豊済会 井上会長



毎日誰よりも早く透析室で患者様をお迎えする準備をして長年ときわクリニックを守ってこられ、今春ご逝去された、ときわクリニック初代院長の寺岡先生との懐かしいお話がありました。

2. 学会報告

第69回日本透析医学会学術集会・総会

2024年6月7日（金）～9日（日）に神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されました。

①医療DX推進部門 横井技士

「当院でのヒヤリハット報告開始後1年間の成果」

②下落合クリニック 吉田技士

「皮膚灌流圧測定装置 SPP-K1 と PAD4000 の測定値に関する検討」

③下落合クリニック 守屋技士

「当院におけるエコーガイド下穿刺の教育」

④ときわクリニック 岡田技士

「透析患者での ABI・SPP を用いた下肢スクリーニングの7年間」

⑤下落合クリニック 高梨看護師

「フットケアとレオカーナにより潰瘍が治癒し救肢」

⑥下落合クリニック 小桑技士

「当院で初めて在宅血液透析（HHD）を導入した1症例」

⑦下落合クリニック 小野技士

「ポリエーテルスルホンのヘモダイアフィルタである

Clearum HSF と MFX の性能評価」

⑧ときわクリニック 吉川技士

「VA 管理における PI 値の検討」



横井技師



吉田技士



守屋技士



岡田技士



高梨看護師



小桑技士



小野技士



吉川技士

3. 教育講演 福岡腎臓内科クリニック 谷口正智先生

「多職種で考えるCKD-MBD管理

～ガイドライン改訂を中心に～」



「老化とは?」「CKDは老化を促進しやすくする」「なぜリンを下げる必要があるのか」「適切な食事療法」など、とても分かりやすくお話してくださいました。講演後、スタッフの間でも「リンの少ない食品を選んで食事しよう!」という声が聞こえました。患者様だけでなく、わたしたちの生活にも大切なお話だと感じました。

4. 閉会挨拶 豊済会 菊地理事長

災害対策についてお話がありました。東京都透析医会災害対策委員会での取り組み。能登地震時の東京都での受け入れ態勢。

また、災害時には自助・共助・公助が不可欠で、更に公助では行政の協力が必要であり、広域連携会議では現在1都6県と新潟県が参加しています。

災害がいつ起きても透析治療が出来るよう菊地理事長が様々な取り組みをされていることがとてもよくわかりました。



5. 最後に

昨年から通常の現地開催を行っており、今年も教育講演に講師の先生をお招きすることができました。

今回はお忙しい中、谷口先生が第33回職員研修会のために福岡から来て下さいました。谷口先生にお越しいただきたく、今年の開催テーマを「正智先生からCKD-MBDを学ぶ」と掲げました。

貴重なお話を聞くことができ、有意義な研修会となりました。